



2009～2010年度RI会長
John Kenny



東京赤坂ロータリークラブ

No.1060 / 2009.9.11

例会 / 毎週金曜日12:30

例会場 / ANAインターコンチネンタルホテル東京
Tel 03-3505-1111

事務局 / 〒107-0052 東京都港区赤坂2-19-8

赤坂2丁目アネックス3F

Tel 03-3505-5976

Fax 03-3505-6004

akasaka-rotary@w8.dion.ne.jp

http://www.k5.dion.ne.jp/~akasaka

Weekly Report

東京赤坂ロータリークラブ週報

「かけがえのない親睦を享受し、他者のためにつくす」

2009～2010年度・東京赤坂ロータリークラブテーマ / 四分一勝 会長

●本日の例会 / 2009年9月11日 第1084回 例会

卓話予定『混沌の国際情勢下における日本の現状』

愛知淑徳大学ビジネス学部教授 真田 幸光 氏

— ●先週報告 / 2009年9月4日 第1083回 例会 —



卓話『イニシエーションスピーチ』

当クラブ会員 岡澤 実 氏

会長報告:

米山奨学会から庄司会員へ米山功労者感謝状を授与いたします。

クラブ財政改善委員会: (荒木委員長)

9月1日(火)火曜会を變更し、クラブ財政をテーマにフォーラムが開催されました。当日は21名の会員が参加され、18時30分より20時まで現状の説明と質疑応答に加え長時間にわたり真剣な討議がなされました。

親睦活動委員会: (橋本委員長)

麻布RCとの合同ゴルフ大会が10月27日(火)に日本カントリークラブで開催いたします。合同のコンペは訳ありです。前回のリベンジがかかっておりますので、よろしくお願い申し上げます。

慶事披露:

誕生日祝 / 村山公士君
(9月2日)



100%出席祝 / 岩上義明君
(7年)



出席報告: (順不同・敬称略)

会員48名 / 出席28名・欠席20名 (出席規定免除者6名)

ゲスト / 岡谷正和氏 (卓話者) 計1名

ビジター / 井手秀明 (大阪平野RC)、藤野隆弘 (東京日本橋RC)、米倉健司 (豊島東RC) 計3名



9月4日

21件43,000円 / 本年度累計266,000円

多額のご寄付をありがとうございました。(敬称略)

四分一勝 / 庄司さん、米山功労者おめでとうございます。岡澤さんイニシエーションスピーチ楽しみにしております。西澤民夫 / 岡澤さん、本日のイニシエーションスピーチとても楽しみにしています。武下さんご苦勞様です。岡澤実 / 本日、イニシエーションをさせていただきます。不手際があるかもしれませんが、よろしくお願ひします。村山公士 / 岡澤さん、本日のイニシエーションスピーチ楽しみにしております。お誕生日祝ありがとうございます。荒木昭文 / 先日のフォーラム皆様ご苦勞様でした。尾関武男 / 本日、会社のBCPの一環として、災害訓練を朝から夕方まで行っております。朝、自宅から会社まで歩いて通勤しました。清水實 / 岡澤さん、イニシエーションスピーチ、楽しみにしております。武下さん、ニコニコご苦勞様です。小原健 / 岡澤さんのイニシエーションスピーチに期待します。プレッシャーはかけませんからリラックスして。橋本年男 / 岡澤さんスピーチ楽しみにしております。武下さんニコニコご苦勞様です。岩上義明 / 明日から10日間、おそい夏休みでアメリカのワシントンDCとニューヨークへ行つて参ります。勿論! 家族旅行です。岡澤さん、イニシエーションスピーチ頑張ってください。庄司泰典 / 岡澤さん、イニシエーション楽しみです。高須康有 / 岡澤さん、イニシエーションスピーチ頑張ってください。楽しみにしております。長谷川弘志 / 岡澤さん、イニシエーションスピーチ楽しみにしてました。昨夜は眠れましたか。石井謙次 / 武下さん、ニコニコご苦勞様です。岩上さんご旅行気をつけて。飯島規之 / 岡澤さん、イニシエーションスピーチおつかれさまです。武下さんニコニコお疲れ様です。鶴間喜久男 / 岡澤さん、イニシエーション頑張ってください。土屋東一 / 武下さん、ニコニコご苦勞さまです。平田和夫 / 岡澤さん、この日を楽しみにしていました。渡部一元 / 武下さん、ご苦勞様です。佐藤仁 / 岡澤様楽しみにしています。石井様、来客紹介ありがとうございました。武下朗 / 本日ニコニコ担当です。たくさんニコニコありがとうございました。

第1回クラブフォーラム

日時 2009年9月1日(水)
18:30 ~ 20:30
場所 ANA インターコンチネンタルホテル東京 36階
「マンハッタンラウンジ」
テーマ クラブ財政問題について
-財政改善特別委員会答申の説明
出席者 四分一、西澤(民)、荒木、柴本、武下、吉田、入沢、小原、村山、吉岡、高須、庄司、岩上、小林、鶴間、橋本、飯島、内田、長谷川(弘)、岡澤、松永



8月28日に、財政改善特別委員会より「クラブ財政改善に関する答申」が提出されたのを受けて、早急に会員に案内したほうが良いとの理事会決定で、急速、火曜会をフォーラムに切り替え、開催された。

会長および特別委員長挨拶

まず、四分一会長から「何故このようになったのかと思う会員も多いと思うが、こうした現実を踏まえて改善に当たりたい」との挨拶があった。次いで、荒木財政改善特別委員長から特別委員会の目的や構成、検討経過について報告がなされた。その中で、特別委員会は理事会や会員と協力し財政改善のため少なくとも3年間継続的に活動することが表明された。(詳細は配布資料を参照)

財政の現状と問題点

飯島委員より過去5年間の財政状況について説明があった。一般会計が恒常的に赤字であったが、その対策を採らないままチャリティ会計や基金会計から赤字補填を続けてきたために、昨年度末で基金会計や交換学生引当金が底尽したこと、および今年度も会員減による会費減少のため、11月で資金ショートに落ちる可能性が高いことが報告された。(詳細は配布資料を参照)

答申の説明

松永委員より、理事会に提出された答申について、提言を中心に説明がなされた。その中で、財政問題が生じた原因は、一般会計での収支均衡という基本的な会計原則が守られなかったことや単年度主義の弊害という構造的な問題を指摘された。また、今後の健全化の基本方針は、3年間で基金会計残高500万円、一般会計の単年度収支バランス、会計間の相互流用の禁止が出された。具体的な実施案として、一般会計のうち、例会費や家賃、委員会活動費から年間600万円削減し、通年でバランスをとる、今年度不足分を会員からの寄付で補填する。また、今後の再発防止のため、会計の任期や監査について制度的な手当てをおこなうというものである。(詳細は配布資料を参照)

会員増強

岩上委員より「今年度は若手会員を中心に委員会を構成しており、友人・知人の紹介を中心に増強活動をおこなってゆが、全員の取組がないと達成できない。併せて例会のあり方も検討したい」と話があった。

質疑応答・自由意見

以上の説明の後、参加の会員より活発な質問や意見が出された。大日方会員からは事前の意見があり、資料と一緒に案内された。

清水会員: できることはスピード感を持ってやらなければならないが、余りミミッチイことはしたくない。また、改善委員が会議費を負担するのはいかがなものか。

入沢会員: (質問) 例会費削減でホテル側の了解は得られそうか。
(回答) これまで交渉した限りでは、単価引き下げは難しい。3700円の弁当にしたり、ホテル外で移動例会を実施したりするなどの方策を採ることで対応。

内田会員: 出を減らすしかない。月1回外でやるのは賛成。忘年家族会も予算範囲内で小ぢんまりとやっても良い。週報の編集も外注するのではなく、自分たちで行うとし、ネット配信で印刷枚数も減す。

橋本会員: 忘年家族会は過去多額の補助金を使っていたが、今年は会員から集めた金額の範囲で実行したい。火曜会もクラブからの補填なしでやりたい。節約は大賛成。

鶴間会員: 会議費などは例会場を使ってはどうか。活動費の基本は独立採算でやるべき。大日方会員からの提案の預託金制度は評価できる。

高須会員: 卓話者はお金目当てでないで、少ない謝礼でも問題ないと思う。食事や会場費などの節減で喫緊の問題が解決できれば元に戻せばよい。

長谷川会員: 良い答申だと思う。入会したばかりなので、クラブは存続してもらわないと困る。重要なのは会員増強で、一人一人が増強に努める以外抜本的な策はない。寄付についても止むを得ないが、預託金の利息付はRCの主旨と合わない。例会場の変更は地域への思い入れもあり、現実的な解決策でない。外部での例会はすぐにでも実行可能なので、具体的な実行案を出して欲しい。

柴本会員: 一年ごとの委員制の悪い面が出た。高齢者の会費減免制度を採っているが、緊急事態なので減免制度を停止しても良い。こういう事態に至ったのはベテランの責任でもあるので、3年以内の若手会員には負担は求められない。例会場の変更は、赤坂RCの発祥地であり、また麻布RCも困ることになるので、好ましくない。ピアニスト謝礼は南RCとの関係で決めたが、割高な支払いなので値下げのお願いをしてはどうか。

小原会員: クラブの活動で、食事など見える部分を減らすと会員減の恐れがあるので、家賃などの事務局経費などの見えないところから手をつけるほうが良い。支出抑制はダイナミックにやらないと焼け石に水になる。

岡澤会員: 出を抑えるしか方法はない。事務局家賃や印刷費などの間接費から抑える。

小林会員: 他のクラブでも同様の問題点を持っているところもあるので、事務局の共用を考えた方が良い。例会場変更は、すでに定着しており、ビジターも多いので反対。新入会員勧誘のポイントは、これまで接点のない人から卓話を聞くことなので、充実することで会員増強につなげて欲しい。

入沢会員: 現在の例会の形を変更したくないが、月1回は外へ出ることで食費以外にも節減できる。事務局経費は大きいので、現在外注している部分を事務局に移行してはどうか。聖域を設けずに削減策を考えるべき。監査には余り期待しては行けない。要は理事会での徹底的な予算作りであり、理事会で厳しい議論をすべきだ。

鶴間会員: 他クラブがどのような会員増強をしているか、また、退会防止策としてユーモア会のような会合をもう少し多く持つてはどうか。退会防止にカウンセラーや例会のあり方が重要なので、こうしたことを考える委員会があってもよい。

橋本会員: 会員が事務局員を頼りにして、自分たちができることまで仕事を振っている。彼女は大変忙しい思いをしている。負担を掛けすぎていることを反省すべき。

岩上会員: 根本的な問題として、会員が80名になった場合でも、全員が毎回例会に出席すると、現行の例会費と年会費では足りなくなることを認識して欲しい。

清水会員: 現在食事枠は37名で取っているが、ホテル側は35名でも受け入れ用意がある。ビジターを含めても5~6食あまっているので、資源節約からも枠削減を検討してはどうか。

吉田会員: 出を制するためにもっと知恵を出し合うことが必要。入についてもチャリティ事業収入など考えるべき。これまでも加山雄三ショーや20周年記念コンサートなどで会員が結集して成果を挙げた実績がある。今回も危機をバネにして全員で知恵を出し合って、活性化してゆけるのではないかと期待しているし、確信している。

最後に柴本会員から、設立数年で地区大会を主催するという大事業を成し遂げた実績を例えに、「当クラブはチャレンジのクラブであり、大変なときに大きな力を出せる実績を持っている。全員で知恵を出し合ってチャレンジ精神で前向きにやって行けば、今回の危機も乗り越えられると確信している。今日のフォーラムをスタートにしたい」と、力強い総括を頂いて閉会となった。



●次回予告/2009年9月18日 第1085回 例会
第3回クラブ協議会 13:10~14:30
テーマ「クラブ財政改善の件」